

第 1 5 3 回新生ふくしま復興推進本部会議
第 5 0 回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和 7 年 9 月 2 日（火） 1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 0 8
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎 2 階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

議題の 1 つ目、「国の令和 8 年度予算概算要求」、2 つ目「国の令和 8 年度予算概算要求（福島イノベーション・コースト構想関連）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料 1 を御覧ください。左側は、先週の福島復興再生協議会において、知事から各大臣に直接要望いただいた項目を記載しております。右側は、各府省庁から今般公表された概算要求の主な状況に対応させております。

第 3 期復興・創生期間の初年度となります令和 8 年度においても、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策の強化、地域産業の再生及び新産業の創出、インフラ等の環境整備等について、必要な予算が計上されております。

次に、資料 2 を御覧ください。「福島イノベーション・コースト構想関連予算」です。

本年 6 月に青写真を改定し、「構想をもっと身近に、未来を現実に」するために、これまでの 3 つの取組の柱に、新たに 3 つの視点、「地域の稼ぎ」「日々の暮らし」「担い手の拡大」を追加したところであります。

こうした点を踏まえて令和 8 年度の概算要求では、「実証の聖地」のブランド化、面的サプライチェーンの構築など、改定した青写真に基づきイノベ構想を実現していくために必要な予算や F - R E I の取組に係る予算が計上されております。

なお、税制改正要望項目に、福島措置法に基づく風評税制の延長及びイノベ税制の拡充・延長が盛り込まれております。

以上のとおり、令和 8 年度概算要求については、おおむね本県の要望が反映されております。

今後、財政当局との折衝に向け、各府省庁を後押しできるよう、各部局が根拠となるデータ等を用いて丁寧に説明し、本県の要望が年末の政府予算案に確実に反映されるよう、引き続き、国との調整・協議を進めてまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、危機管理部。

【危機管理部長】

危機管理部関連では、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉対策やALPS処理水の海洋放出に係る海域環境モニタリングの実施、原子力防災体制の充実・強化のほか、災害時における避難所の生活環境改善のための予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に措置されるよう関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

避難地域復興局。

【避難地域復興局長】

避難地域復興局関係では、福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業、特定帰還居住区域整備事業、被災者支援総合交付金など、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。

引き続き、中長期にわたる継続的な取組に加え、復興の進捗により生じる新たな課題に対応するための必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

生活環境部関連では、中間貯蔵施設事業や除去土壌等の県外最終処分に向けた理解醸成など、環境回復の取組のほか、カーボンニュートラル推進のための予算が計上されました。

また、避難地域における公共交通の維持・確保や野生鳥獣対策などの復興予算が計上されています。

今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

保健福祉部関連では、被災者の心のケアへの支援や子どもから高齢者までの健康回復、避難地域等における医療提供体制の再構築に加え、双葉地域における中核的病院の整備や人材確保等に向けた経費など、必要な予算について計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、被災事業者の事業再開支援や創業支援事業、企業立地補助金、観光関連復興支援事業など、産業の再生や創出に向けた予算が計上されております。

さらに、福島イノベーション・コースト構想関連の予算として、実用化開発や、福島新エネ社会構想に関する経費等が計上されております。

国に対して、これらの予算の必要性を説明し、確実に確保されるよう、今後とも必要な調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部長】

農林水産部関係では、風評払拭を総合的に支援する「福島県農林水産業復興創生事業」や、営農再開の加速化・広域的な高付加価値産地の創出を支援する「福島県営農再開・高付加価値産地展開支援事業」などの予算が計上されました。

今後とも、本県農林水産業の復興に向け、これらの予算が確実に確保される

よう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部長】

土木部関連では、社会資本整備総合交付金の復興枠について、本県の要望を踏まえた必要な予算が計上されております。

また、復興関係以外では、「第1次国土強靱化実施中期計画に基づく取組の推進に必要な経費」について事項要求として盛り込まれており、引き続き関係省庁と連携しながら予算確保に取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育長】

教育庁関連では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、イノベ構想を担う人材育成など、「福島ならではの」教育を推進するために必要な予算が計上されております。

本県教育の更なる充実発展のため、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

ほかにありますか。

なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

これまで、国に対し、あらゆる機会を捉えて令和8年度の予算確保を強く訴えてきました。

その結果、各部局長から発言があったとおり、国の概算要求に、避難地域の復興・再生や避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策、福島イノベーション・コースト構想の推進などに関する事業が盛り込まれたところであり、関係府省庁には、おおむね福島県の要望を踏まえた対応をしていただきました。

第3期復興・創生期間の初年度となる令和8年度においても、切れ目なく福島県の復興と地方創生を前に進めるためには、年末の政府予算案に十分な予算や

制度が確実に盛り込まれることが必要であり、これからの取組が重要です。

部局長の皆さんにおいては、引き続き、熱意を持って福島の実状や課題、事業の必要性等を説明し、粘り強く国との協議・調整を進めてください。

【鈴木副知事】

以上で、会議を終了します。